



地域住民と一体となった活動

わじ はままつ 和地区環境保全対策協議会（静岡県浜松市）

○当組織は、以前は浜松市郊外ののどかな農村地帯だったが、近年工業団地の進出等により宅地開発が進むことで混住化が進行している。

「昔の豊かな自然を取り戻す」を合い言葉に平成19年に組織が設立され、活動を開始した結果、今では地域住民の地元への愛着が芽生え、活動の参加者が増加している。

【地区の概要】

- ・取組面積：292ha
(田30ha、畑262ha)
 - ・資源量：開水路 104.5km
農道 98.3km
 - ・構成員：自治会、学校法人等
 - ・交付金：約15百万円
- 農地維持支払
資源向上支払(共同活動、長寿命化)

活動開始前の状況や課題

○従来から地域全体で水路の泥上げや草刈りに取組んでいたが、近年、地域の高齢化や担い手不足等により耕作放棄地が増加し、農村環境の悪化が懸念されていた。



機械による
草刈り風景



草刈り風景

取組内容



農業体験



高校生との草刈り活動

- 遊休農地を活用し、育成会と連携し農業体験を実施している。
- 高校と連携し、地域の草刈りや植栽活動を実施している。

活動の効果



餅つき大会



案山子づくり大会

- 農業体験で収穫した餅米を使用した餅つき大会や案山子づくり大会など、地域の子供達の参加する行事を積極的に実施している。
- 農業体験等を通じて子供達の農業への関心が高まるとともに、地域住民の活動への参加者の増加につながっている。